

校訓	真善美	平成30年度学校だより	発行日	平成30年11月14日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる	「荒中だより」 第25号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

万全の準備をして楽しむ！！

先週のオープン・スクール週間には、350名を超える保護者や地域の皆さまなどにご来校いただき、生徒たちを温かく見守っていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。その期間中の7日（水）は、午後から進路説明会と授業参観、その後1年生は学級懇談会、2年生は29日（木）に行う神戸への校外学習の説明会を行いました。進路説明会では、進路担当から現在の進路状況、今後の主な日程や注意していただきたいことなどについて説明させていただきました。3年生の皆さんは、今後の日程をしっかりと頭に入れながら、**自分の目標に向かい一歩一歩前進してください。**

今年の夏、インドネシアのジャカルタでアジア競技大会が行われました。競泳の池江璃花子選手は、6つの金メダルと大会MVP（最優秀選手）^{かくとく}を獲得しました。レースの合間^{あいま}に表彰式が行われる分刻み^{ぶんきぎ}の過密なスケジュールにも、「楽しかったです。金メダルを取るたびにMVPが近づいていると思って泳いでいます」と前向きに語っています。サッカー日本代表でブレイク中の中島翔哉^{しょうや}選手は、「楽しんでプレーすることによっていいプレーになり、それがチームの勝利につながる」と言っています。二人に共通していることは、**競技そのものを楽しみ、試合で全力を出し切るということです。**



しかし、忘れてはならないことは、『楽しい』という言葉の背後にある見えない努力の重さです。「中島選手は、もうやめろとストップをかけられてもこっそりと筋トレをしていた」とかつてのコーチは語ります。彼がサッカーを心から楽しめるのは、**それだけの準備をしているから**なのです。『楽しい』という言葉の背後にある地道な

つら
辛く苦しいトレーニングの積み重ねを、あえてポジティブで明るい言葉で表現しているところがすごいなあと思います。

多くの運動部は新人戦が一段落しました。今は次の大会に向けて鍛錬をする時期です。試合を楽しんで持てる力を出し切ることができるよう、地道な積み重ねを大切にしてください。また、『コートの中に生活があり、コートの外に勝負がある』と
たんれん
います。コート上のプレーには、普段の生活における考えや行動が出ます。だからこそ日常生活を大事にしてください。次の試合会場で、皆さんの今以上に輝いている姿を楽しみにしています。



きらめけ!!荒中生!!

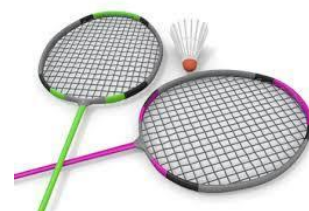
バドミントン (阪神新人大会 10/27 緑ヶ丘体育館)

男子団体 (山内、中尾浩、梶川、中尾優、滝本) **優勝**

シングルス **優勝** 山内育海

女子団体 (永野、中司、松井、大西、鈴谷、中村、中西) **準優勝**

ダブルス **3位** 中司和花・松井ゆうか シングルスベスト8 鈴谷凜 以上県大会へ



駅伝 (阪神駅伝大会 11/3 武庫川河川敷)

男子 (松島、谷川、村上直、橋本、尾形、山本健) 10位

バスケットボール (阪神新人大会 11/4・10 緑ヶ丘体育館・伊丹スポーツセンター)

女子 **3位**

卓球 (阪神新人大会 11/10・11 芦屋市立体育館)

男子団体 (横山、狩山、松山、田口、小川、宇野、村上) **優勝**

シングルス **3位** 横山紫音

女子団体 (進川、山田、藤谷、前田、田中、吉田) **準優勝**

シングルス **5位** 田中あか音 以上県大会へ



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!